

令和4年度 事業計画書

岩室観光開発株式会社

1. 事業方針

新潟市岩室健康増進センターは市民に保健、保養並びに交流の場を提供することを目的とし新型コロナウイルス感染拡大防止による新生活スタイルを基に、お客様に安全、安心、快適にご利用していただけるよう、ガイドラインを定め感染対策に努めます。

さらに「おもてなしの心」で入館者、施設利用者を迎え、癒しの場を提供しつつ、利用者が快適に過ごせるような施設運営を目指します。

2. 具体的取り組み（事業計画）

- ① 多様化する市民ニーズにより効率的に対応し、市民サービスの向上とコスト削減を図りつつより多くの市民が利用できる場所として活用されるような施設運営を行う。

【温泉施設、よりなれ】

入館者の要望としては入浴施設の改善要望（露天風呂を広くして欲しい・洗い場を増やしてほしい等）が多く寄せられている。

コロナ感染前とはいかないが、徐々に入館者も増えてきている（別表参照）

（別表）

平成31年度入館者	令和2年度入館者	令和3年度入館者
52,890人	34,669人	42,582人
	コロナ感染発症	

特にこの施設はほぼ毎日利用される顔見知りの方が多く家庭的な施設である為初めて利用された方が、利用しづらい面があるようでそのような利用者から施設改善の要望が多く寄せられています。そのような方々も利用しやすいよう新潟市と協議しつつ改善に取り組んでいきたい。

※対策

- ・無料休憩室（消防署届け出40人）の整備 開業以来使っている畳の入替
コロナ感染前に健康の増進、癒しの空間として入館者に無料で体験できる健康器具及び体の矯正（カイロプラクティック等）が受けられる体験施術などの企業誘致の再開。
- ・当施設も岩室温泉と同じ源泉「黒湯」を使用しているのでPRし利用者の増加に繋げていきたい。

【有料貸室、静閑荘】

使用料が減免出来る制度もあるが条例の縛りがあり申請が出しにくい、緩和されれば利用者の増加にもつながるのではないかと思う。料金体系等そろそろ見直してもいい時期だと思う。(合併はH17年3月)

貸室の使用量と別に入館料金が発生する為、利用者にとっては理解しにくい制度である理解していただくのに苦勞する事がただ多々ある(入浴する人は含まない)
減免申請の緩和、入館料が免除出来るよう新潟市と協議し利用者増につなげたい。

※対策

大広間・中広間の活用

- ・新潟市高齢者支援課「福祉バス 見学・研修」の受入れ再開
- ・地域コミュニティ協議会と連携した活動及び会場の提供、畳部屋での利用なので輪投げ大会・囲碁、将棋大会・健康講座・ヨガ教室などの受入れ

個室8帖・10帖の活用

- ・少人数・プライベート・静かに休憩したい方、小さい子連れの方などの利用
(パソコンの入力・読書・仮眠など)

- ② 日常作業マニュアルを活用し、お客様が快適、安全に利用できる施設を目指します。
レジオネラ菌、大腸菌群の自主検査は年2回実施、新型コロナウイルス感染症から来館者従業員の健康を守る為、ガイドラインを定め感染症対策に努めます。
設備が古いので残留塩素等の調整が大変ですが、経験豊富な職員の努力で、快適・安全に努めています。
- ③ 接客トラブルに速やかに対処すべく、社内研修を実施し、入館者の満足度を上げるために職員研修による接客マナーの向上に努め、あらかじめ苦情、要望の多いと思われる業務は事前に改善に努めます。
- ④ 防災訓練を実施し、災害等の緊急時に備えます。(年2回6月・12月に実施)
- ⑤ アンケートにより、入館者の意見、要望を把握し、お客様満足度の向上に努めます。
- ⑥ 当施設は保健所の指導により飲食の持込が禁止されているので、入館者の利便性を考えてケータリング並びに地元飲食店紹介等により食事の提供をする。
 - ・部屋食希望の場合は提携店よりケータリングより食事を提供します。
 - ・外食希望の方は地元飲食店のマップを作成して情報を提供します。
 - ・食堂で食事の提供が出来るようテナントの募集も進めていきたい。

3. 集客対策

- ① 提供出来るマスメディアを使ってより一層のPRをします。
- ② 入館料の安さをPRし入館者の増加に努めます。